

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
看護研究Ⅱ	3年次 後期	必修	講義	1単位(15時間)	渡辺 しき子 ※
授 業 概 要					
看護研究の成果は看護実践の根拠として看護の質の向上につながる。看護の実践を通して学んだことや悩んだこと、考えたことを、先行研究や論文を活用し再構築する過程を通して、広い視野で看護を考え、研究する態度を養う。また、その過程を通して、知的探求の楽しさを知る。					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の実習体験を客観的に振り返り、実践した看護ケアについて意味づけができる。 2. 文献を根拠としながら自分が実践したケアにどのような意味が含まれていたのかについて記述する。 3. 看護研究Ⅰの知識をもとに文献等から得られた知見を活用し、一貫性があるレポートを作成する。 4. 他の学生との意見交換を通して看護の事象を多角的に考察する必要性に気づきを示す。 5. 研究成果を発表することの重要性に気づきを示す。 					
実務経験のある教員					
渡辺 しき子：臨床現場での経験を踏まえ、自己の実習体験を客観的に振り返り、看護の意味に気づきを示す演習をファシリテートする。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-6	1. ケースレポートの実践 1) 実習レポートを手掛かりに看護における疑問・関心事の明確化 2) 文献検索・文献検討による疑問・関心事の精練 3) 実習レポートの精選、再構築、ケースレポートの作成				渡辺 しき子 ※
7	2. ケースレポートの発表、意見交換				
8	3. 研究発表会(魚沼シンポジア)に参加				
学 習 方 法					
個人で課題学習に取り組む。 文献等を熟読し、自ら考え追求していくことが必要である。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 レポート 他 授業開始時に詳細を提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 かんたん看護研究 ― はじめの一步からやさしく進める 編集 桂敏樹、星野明子 南江堂					